



麻生津ネット 防災保存版



災害時にどうすればよいか考えよう ～ 全ての命を守るために

能登半島地震を契機に、皆が「もしも」の状況を想定した準備や行動について、より切実に考えるようになっていきます。石川県や坂井市・あわら市からの情報を集め、**交通遮断、インフラ被害、緊急メールもできない状況**等非常事態を想定するとともに、子どもの心のケアの見通しをもった「**家族で安心できる環境にいち早く避難する**」重要性も意識してマニュアルを見直しています。

そこで、**震度5強以上の地震が発生した場合**の対応について、R6 年1月現在の情報をお知らせします。ご理解ご協力の程、よろしくお願いします。

震度5強以上

1 大地震 メールなくても すぐ行動 ～ 揺れたら子どもの側にすぐに行こう

- (1) 家で震度5強以上の大地震が発生したら、**学校は休校**です（児童館ありません）。授業再開連絡があるまで家族と一緒に身の安全を守ります。メールが使えたら、**安否確認に必ず回答**してください。
- (2) **学校にいるときに**大地震が発生したら、**緊急引き渡し**となります。保護者、祖父母等、緊急カードに登録の方（**徒歩で来校、できるだけ早く子どもと合流、子どもを安心させられる人**）の迎えが必要です。
- (3) 震度5弱までの地震でも、状況によって迎えも考えられます。事前連絡なしで迎えにきていただいてもかまいません。余震等による不安を軽減できるよう、**早く家族と合流する**ことをおすすめします。

2 学校は 子ども・救急 最優先 ～ 命を守るための行動をとろう

- (1) 子どもたちの避難、安全な待機場所確保、怖がる子どもの個別対応、場合によっては救急車要請など、学校は大変な状況の可能性があります。子どもを守ることが最優先で、電話や周辺道路の混乱対応はできません。次のような協力が命を救うことにつながります。どうぞよろしくお願いします。
 - ① **学校に電話をかけない。問い合わせをしない。**避難所開設等、テレビのテロップや携帯で確かめる。
 - ② 緊急車両優先のため、**学校を囲む道路に車で入らない。**けが人搬送等の緊急車両以外は、**駐車場に乗り入れない。**引き渡しの原則は**徒歩**。
 - ③ **家族間相談**を十分しておき、「避難所で合流」等の家族ルールをつくる。
- (2) 状況、季節や天候、時間帯によって、様々な引き渡し場所が考えられます。地震等で子どもが長時間待つ状況のときは、**児童館（北校舎1階）や教室を待機場所**で使う準備もしています。教員の指示や確認にご協力願います。
- (3) 地区ごとの防災体制や集合場所の確認など、**助け合い**の情報を積極的に集めておきましょう。



大変な状況の被災地ニュースを見る度に、誰もが「もしも」の事態を考えているときです。今、自他ともに全ての命を守るため、家族で「もしも」の大事な約束を確かめましょう。～是非ご家庭に貼っておいてください～麻生津小学校